中学校１年　社会　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類 ＼ 設定通過率の	観点別			内容別			計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10％ より高い	0	0	1	1	0	0	1
±10％ の範囲内	4	4	7	5	6	4	１５
－10％ より低い	2	1	1	1	1	2	4
計	6	5	9	7	7	6	２０

（２）考察

①　全体について

ア　平均通過率は、設定通過率の平均を2.5ポイント下回っているが、20問中16問が設定通過率の「±10%の範囲内」であるので、学習の実現状況はおおむね良好であるといえる。

イ　今年度出題した新しい問題のうち４問において通過率が設定通過率を10ポイント以上下回り、指導の改善が必要である。

②　成果

ア　経年比較している問題のほとんどにおいて通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

③　課題

ア　資料を読み取るなどの資料を活用する力が不十分である。

（３）今後の指導

ア　年表や地図などの資料を適切に活用して、読み取ったことを基に多面的・多角的に考察する学習の一層の充実を図る。

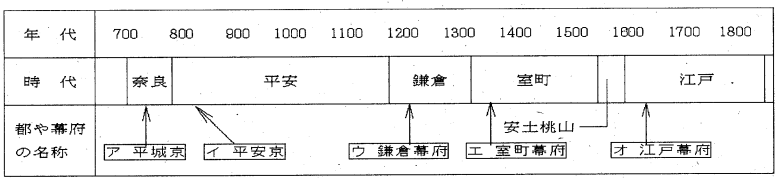
○ポイント［(15を例として］

①年表を活用した歴史的事象の意味の読み取り

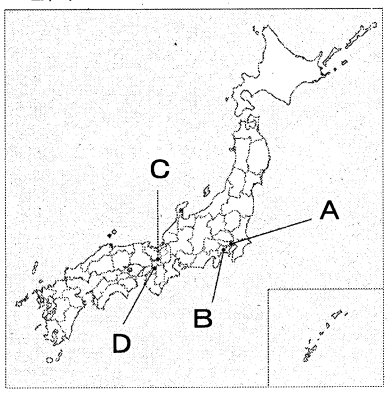
②読み取って分かったことについての適切な表現

○具体例

年表



地図



・各時代における政治の中心地がどこに置かれたかを確認する。

・それぞれの都や幕府がなぜそこに置かれることになったかを予想する。

・それぞれの土地の様子や周囲の地形などの自然的条件、天皇や将軍の思惑、相対する勢力との関係、当時の社会情勢などの社会的条件から、政治の中心地がそれぞれの場所に決まる背景を考察する。

・必要に応じて、各時代の詳しい年表や勢力図、地形図などの資料を活用しながら検証する。

・歴史的事象の意味や働きを理解するためには、年表を活用し、次のことなどを調べさせたい。
①いつ頃の出来事なのか
②誰が何をしたのか
③どこで何があったのか
④その前後にどういう出来事があったのか

・必要に応じて個々の出来事について詳しく調べる過程で地図等を適切に活用させ、読み取った事実から何が言えるかを考えさせるなど、社会的な思考力を高める指導が大切である。

・年表や地図などの資料から社会的事象の特色を読み取ったことを文章でまとめる際には、考えの根拠となる資料を載せたり、キーワードを意識して短い文章で記述させたりする。また、絵やイラスト、関係図や主題図づくりなど目的に応じて、適切なまとめ方を選択して表現させる活動が大切である。